

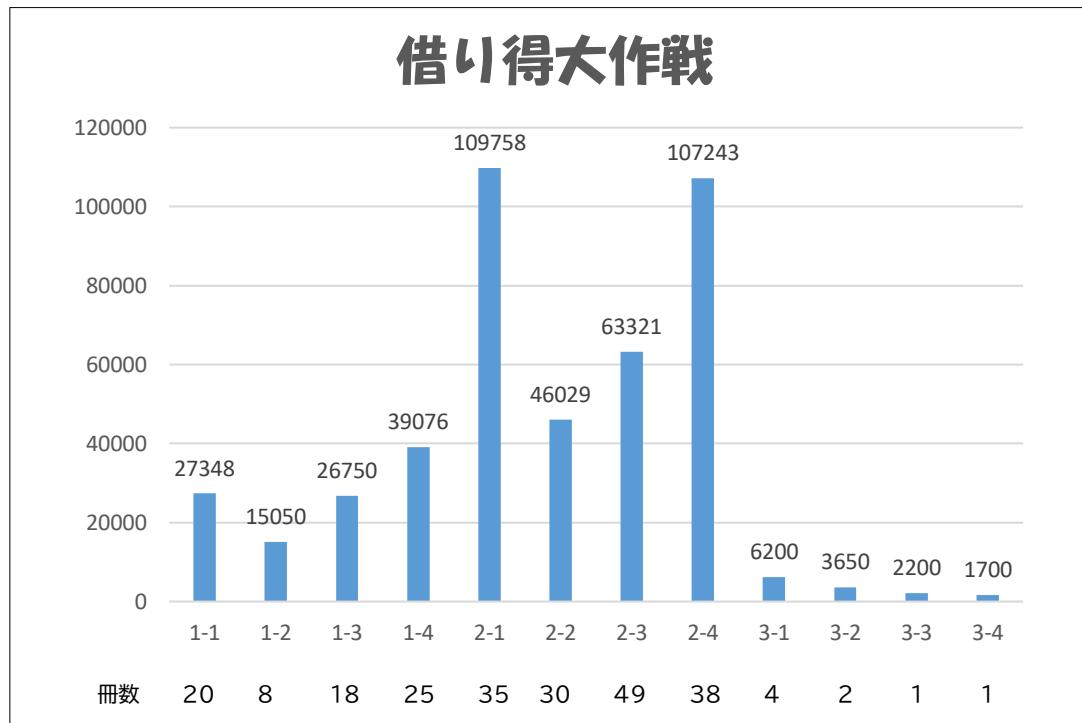
Library News



大山崎中学校図書館
令和8年 2月

本の値段は意外に高い？

図書委員会のイベント、借り得大作戦が終了しました。本の値段がどこに書いてあるか知らなかったり、こんなに高いの？とびっくりしたり、高価な本を求めていろんな棚から本を引っ張り出したり、と様々な人がいて楽しいイベントとなりました。普段は決して手に取らないような本を広げて、その内容に驚いたり、面白さを発見したりしてくれたことは司書としてうれしいことでした。これを機会に様々な本に出会ってほしいです。インターネットの普及に伴って、多くの無料で楽しめるコンテンツがあふれている中、どうして本はこのような値段になるのか、ぜひ、1冊の本が出来上がるまでに関わっている多くの人の手に思いをはせてみてください。また、3年生のみなさんは受験期と重なり、参加しにくいイベントでしたが、本を手にする機会がありましたら本の値段を確かめてみてください。



新着本から

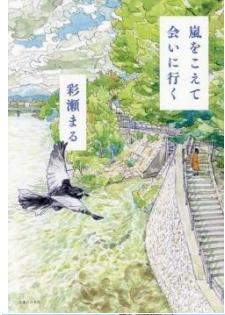
『そして砂漠は消える』 マリー・パヴレンコ 静山社

人類が多くの生物を絶滅へと追いやった後、世界は急速に砂漠化していった。砂漠で暮らす人々は残されたわずかな樹を探し、切り倒し、それを都会のタワーで暮らす人に売って、水ゼリーやプロテインバーを買って生きている。砂漠の民の少女サマアは自分もハンターとして樹を狩る仕事に憧れていたが、女であることを理由にハンターにはなれない。納得できないサマアはある日ハンターたちの後を追って行ったが、彼女が遭遇したのは……SF冒険小説！



『嵐をこえて会いに行く』 彩瀬まる 実業之日本社

自分はウミネコだった！遠距離恋愛中の恋人に会いに行った先で三浦は強烈に自分の前世を意識する。ウミネコだった自分にはいつも会いたい人がいて、その人に会うために海も嵐も超えて毎年ここへ渡って来ていたのだ。そのことをその人に伝えなくては・・・「遠回り」他4編を収録した短編集。会うことの大切さを、つながることの意味を思い出させてくれる本です。



『わたしのbe 書くたび、生まれる』 佐藤いつ子 KADOKAWA

中等部から高等部へ進学して、メイクデビューをしてみたり、外部入学のイケメンに心奪われたり、文香はそんなどこにでもいるような高校生。部活は中等部から続いている書道部だけど、消去法で選んだだけ。ところが噂のイケメンが書道部に入部、同時に校内一イケてるダンス部の女子も入部してきて文香の高校生活はにぎやかになり…タイトルのbeの意味が心に響きます。



人気シリーズの続編

『コールドムーン』 芥川なお

すばる舎



『変な地図』 雨欠 双葉社

『守れ野生のロボット』

ピーター・ブラウン

福音館書店



『リセットルーム』

はやみねかおる 朝日新聞出版



司書のひとりごと 昨日の本棚から

『ホームレスでいること』 いちむら みさこ 創元社

著者のいちむらさんは、決して貧困が理由ではなかったのですが、2003年から東京の公園のテント村にとびこみ、ホームレスとなりました。ホームレスときいて何を思い浮かべるでしょう？貧しい？汚い？関係ない世界？私たちはあまりにもホームレスについて知りません。そこにいるのに見ないことにしていました。本書にはホームレスを選んだ一人の女性の考え方や暮らしが淡々とつづられています。彼女の声に耳を傾けてみてください。今までとは違った価値観にきっと自分の心が揺さぶられることでしょう。

